

総領事館便り 7 月号



<総領事館ニュース>

☆「東ジャワ州ポンドウォソ県における診療所建設及び母子保健向上計画」供与式典

6月14日、東ジャワ州ポンドウォソ県において平成26年度に日本政府が草の根・人間の安全保障無償資金協力の枠組みで支援した診療所及び母子保健向上計画の供与式典が行われました。本件は、人材開発協力センター（PSPSDM）を通じ、東ジャワ州ポンドウォソ県スンプル・ワル村に診療所を建設、診療所内の医療機器（保育器、酸素ボンベ、胎児心臓鼓動検査機、吸引分娩用器等）を整備すると同時にスンプル・ワル村及びパケム村にて地域検診活動活性化プロジェクト（保健ボランティアに対する研修や村の妊婦健康保健に関する啓蒙活動、検診活動備品整備、保健ボランティアの募集）を実施したもので、84,980米ドル（8,243,060円）が供与されました。

同式典には加藤義治在スラバヤ日本国総領事、アミン・サイド・フスニ・ポンドウォソ県知事、村の住民約100名が出席し、盛大に開催されました。アミン県知事からは、「ポンドウォソ県にとって母子保健向上は重要課題であり、日本政府からの支援に感謝申し上げる。村の妊婦や保護者は安心して出産や子育てを行って欲しい。」旨、挨拶があり、加藤総領事からは「これまで出産や乳幼児の栄養失調・栄養不足に苦労されたと承知している。今回建設された診療所や医療機材の管理を行っていただき、地域検診活動を継続されることで皆様が安心できるよう、そして日本の支援が長きに渡ってお役に立てることを祈っている。」と挨拶しました。また、10社以上の現地報道機関が同供与式典のニュースを取り上げ、インドネシアの方に同プロジェクトについて知ってもらうことができました。



診療所前での集合写真

（加藤総領事（前列右から4番目）

アミン県知事（前列左から6番目））



供与式典出席者の様子

☆イスラム寄宿塾教師とのブカプアサ

6月15日、加藤総領事公邸にてイスラム寄宿塾（プサントレン）関係者との断食明け食事会（ブカプアサ）が開催されました。ブカプアサに出席したのは、2004年から日本外務省が行っている「イスラム寄宿塾教師招へい事業」で招へいされた東ジャワ州、東カリマンタン州、南カリマンタン州在住（当館管轄地域）のイスラム寄宿塾の教師ら12名やその家族計27名です。これまで同事業で招へいされた教師らは、インドネシア全国で計138名にのぼります。加藤総領事は「35年間の外交官生活を通じてインドネシア・ムスリムの方と接しているが、日本人の考え方や生活様式には敬虔なムスリムである皆様と相通じる部分が多く、共存できる者同士。」と述べ、ポンドック・プサントレン・ワリソング・ンガバル・ポノロゴ代表のへ

ル・サイフル・アンワルさんは「モスクや祈祷室の前のサンダルを綺麗に並べる、礼儀正しい行いをする、目上の人を敬う等、訪日時に学んだイスラム的なことを自分のプサントレンで実践しているが、大変うまくいっている。日本の良さをインドネシアで広めるためにも是非このプログラムを維持・拡大させていただきたい。」と挨拶しました。出席者らは暖かい雰囲気の中で、訪日時の思い出を語り、再会を楽しみました。

☆元 EPA 看護師・介護福祉士候補者とのブカプアサ

7月1日、加藤総領事公邸において、経済連携協定（EPA）に基づくインドネシア看護師・介護福祉士候補者関係者との断食明け食事会（ブカプアサ）が開催されました。本ブカプアサには、日系企業社員、アイランガ大学教授、職員等の家族計18名が出席しました。加藤総領事は、冒頭の挨拶で「EPA 経験者が本国に戻っても、ネットワークの構築が不十分であることや企業とのマッチングの機会が無く、日 EPA 経験者が、日本での経験を十分に生かせていない等の様々な問題がある。本日のこのような機会を通じて、インドネシアと日本の架け橋ができるようこれからも協力していきたい。本日は、日系企業関係者・日本人学校関係者が参加しているのでお互いに親睦を深めて頂きたい。」と述べました。また、EPA 経験者を代表して、日系企業社員のヘルディ・シャプトラ氏が「帰国した EPA 経験者を国内で探すのは非常に困難であり、仲間と再会できるこのような機会を与えて頂いたことに感謝します。また、本日参加しているメンバーの中には、本国に帰国しても未だ就職できていない方もいるため、本日出席している日本企業・日本人学校関係者の方々とお話しできる機会を頂与えて頂いたことに、心から感謝します。」と挨拶しました。出席者は、冒頭は緊張しているようでしたが、時間の経過とともに、日本での経験談を語り合ったり、日系企業・学校関係者との貴重な時間を楽しんでいるようで、非常に充実した時間を過ごしている様子でした。



ヘルディ氏による冒頭挨拶



出席者全員による記念写真

〈総領事館からのお知らせ〉

☆第14回スラバヤよさこい祭りの開催

在スラバヤ総領事館はスラバヤ市及び高知市との共催で、8月7日（日）に Balai Pemuda（スラバヤ市多目的ホール）において第14回スラバヤよさこい祭りを開催予定です。同大会はスラバヤ市のクロスカルチャーフェスティバルの一環として行われ、スラバヤの伝統的舞踊であるレモ踊りを鑑賞することもできます。入場無料で自由にご覧になれますので是非会場に足をお運び下さい。

- 日時：8月7日（日）
- 場所：Balai Pemuda ホール内 （Jl. Pemuda No15, Surabaya）
- 時間：07：00—16：00